

乗揚事故に注意！

乗揚事故を防止するために

見張りの徹底

航海中は、**常に適切な見張り**を徹底しましょう。

特に、漂流・錨泊・操業・遊漁中は作業に夢中になるなどして周囲の見張りがおろそかになりがちなので、意識して見張りを行いましょう。

船位確認の徹底

航海中は、海図やGPSなどを適切に使用し、**自船の位置を確認**しましょう。

事前の水路調査

乗揚事故を防ぐため、**事前の水路調査を確実に実施**しましょう。海図等により航海海域にある浅瀬等の危険な海域や定置網等の存在を把握しておきましょう。

居眠りに注意

「居眠り防止装置を使用する」・**「見張りを交代し休息を取る」**などの対策を講じましょう。

また、眠気を感じたら、**「窓を開けて換気をする」**・**「ガムを噛む」**などの対策を講じましょう。

自動操舵使用時は注意

自動操舵装置を使用中の「見張り不十分」、「居眠り運航」による乗揚事故も後を絶ちません。使用するときも適切な見張りを徹底しましょう。

また、次の場合は**手動操作**に切り替え、安全に操船しましょう。

- ①港内 ②船が多い海域 ③荒天、視界不良時 ④周囲に浅瀬等がある場合
- ⑤潮流が強い狭水道 ⑥他船へ接近するとき ⑦針路を変えるとき など

乗揚事故の原因（平成26年～30年）

